

あいち 剣友会だより

発行日
12. 2. 1
第 354 号
会員数 163 名
武蔵台剣友会
渉外・広報部



寒さに負けず
稽古に打ち込もう

先日久しぶりに剣道に関する本を読んでみました。その中に、「剣道用具に込められた精神」というページがありましたので、そのいくつかを紹介します。(参考 『伝統の技術』馬場欽司著)

まず、竹刀の手入れですが、竹刀の原料として真竹を見た場合、五つの節がある部分が一番バランスがよく竹に適っていて、通常は一本の竹でひと組しか取れないものだそうです。ところが子供の竹刀などでは、残りの部分を使ってしまったため、節が四つしかないもので作り、バランスの悪いものになってしまうとのことです。

では、なぜ五本の節がよいのかというと、昔の人はこの五つの節を、儒教の仁・義・礼・智・信という五常五行の教えにからめて教育にも活用したそうです。ですから、節が四つだとこの教えが当てはまらなくなってしまう、その教えも現在では遠いモノになってしまったとのこと。竹刀を選ぶときは、物打ち部分の肉が厚く、刃部の竹が左右の竹に入り込まないものを選ぶとよいそうです。

次に胴着ですが、藍色は激しい稽古で色落ちして行くにしたがって風合いを増す特徴があります。また、藍と防具の色映えも大切にしてきました。昔の胴着屋は、色落ちしたときの藍の色や防具との色映えを考えて、どの程度染めるかに心血を注いだといえます。手洗いを基本とし、裏返しにして日陰干しが一番です。さらに、この昔ながらの染料は、殺菌作用、消炎作用を持つといわれます。

最後に袴ですが、袴は本来、神社仏閣へ参拝するときの正装でした。庶民が神社仏閣へいくとき、大漁祈願と五穀豊穡の祈願というのが一番の目的でした。その祈願が袴に込められています。袴のひだは左足側に三本、右に二本の計五本あります。これが米・麦・ヒエ(キビ)・粟・豆の五穀を表しているとのこと。たたむときもそういう願いを込めてたたんだのです。他にも説はあるそうです。

さすがです。キネの持ち方、堂に入っています。



モチが、はなしてくれないのか、それともキネが離れたくないのかな。



2月の予定

2月11日(土)
西部地区合同研修稽古会
飯能市民体育館 14:00~
稽古会の場所注意
2月12日(日)
段位審査会(初~三段)
埼玉県立武道館 9:30受付
2月19日(日)
飯能地区剣連・合同稽古会
武蔵台小学校 11:00~
2月25日(土)
第32回
武陽旗関東少年剣道大会
駿河台大学体育館
9:45開会

2012.01.22
2012(H24)/2月度 稽古日程、当番表
場所:武蔵台小学校体育館

2 月			
		2日(木曜日)	19:00~21:00 米山
		9日(木曜日)	19:00~21:00 金子
5日(日曜日)	9:00~12:00 戸田	16日(木曜日)	19:00~21:00 大内
12日(日曜日)	9:00~12:00 森本	23日(木曜日)	19:00~21:00 真鍋
19日(日曜日)	9:00~12:00 白井		
26日(日曜日)	9:00~12:00 岩間		

雑巾・お茶用フキンは、次回当番の方が洗濯して下さい
(理由:持ち忘れ・紛失をなくすために)